

呼吸認定理学療法士 臨床認定カリキュラム

当院は、呼吸認定理学療法士の臨床認定カリキュラムの教育機関として日本理学療法士協会より認定を受けました。

下記の通り、講習会を開催いたします。

記

1.講習会概要

本講習会は、日本理学療法士協会の臨床認定カリキュラムに沿って必須科目を90分×15コマ、選択科目を90分×5コマ行います。必須科目は講義のみでオンデマンドによる動画配信形式で行います。選択科目は実技を含め、対面で行います。

2.対象

登録理学療法士取得者

3.受講費

10,000円（対面講義の際に現金でお支払いをお願いします。）

3.必須科目

形式：オンデマンドによる動画配信

日時：2026年7月から12月にかけて

方法:You Tube ・ Google classroom

受講確認：キーワードを主催者メールに送信

4.選択科目

形式：対面による講義および実技

日時：2026年12月5日（土） 9：00開始 18：00頃終了予定

場所：京都市立病院（京都市中京区壬生東高田町1-2） 北館2階リハビリテーションセンター

5.申し込み先

申し込みはメールでお願いします。定員になり次第締め切らせていただきます。

ninnteptkch@gmail.com

記載項目：①理学療法士協会会員番号、②登録理学療法士番号、③氏名（ふりがな）、④生年月日、⑤メール

アドレス、

⑥連絡の取れる電話番号

6.定員

20名

7.問い合わせ先

問い合わせはメールでお願いします。

ninnteptkch@gmail.com 担当：藤田康孝

開講科目一覧

必須科目

1. 正常な構造・機能と疾病の基礎
2. 医学的診断と治療介入
3. 理学療法介入の意義と理学療法士の役割
4. 疾患によって生じる障害とその評価および予後予測
5. 慢性閉塞性肺疾患患者に対する呼吸理学療法
6. 間質性肺疾患患者に対する呼吸理学療法
7. 人工呼吸器管理患者に対する呼吸理学療法
8. 神経筋疾患に対する呼吸理学療法
9. 肺炎・無気肺に対する呼吸理学療法
10. 外科手術後の呼吸理学療法
11. 終末期における理学療法
12. 自立支援や疾病管理の補助具、機器とその活用
13. 発症予防、重症化予防、再発予防
14. 患者・家族教育の意義とその方法
15. 社会資源の活用

選択科目

1. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編2） 呼吸障害把握のための身体所見のとりかた
2. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編3） 運動耐容能評価の実践
3. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編5） コンディショニングの実践
4. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編6） 運動療法の実践
5. 疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編7） 排痰法の実践

講師はすべて京都市立病院の認定理学療法士が担当します。

必須科目はオンデマンド動画視聴のかたちで、都合の良い時間にマイペースで学習をすすめていただけます。

選択科目は開講科目以外にも、症例検討や参加者同士の交流も交えて幅広く実施します。

みなさまのご参加を、お待ちしております。